

# 小規模校におけるポジティブ行動支援 ～持続可能なPBSを目指して～

# 児童の実態 (R6年度アンケート結果より)



- 落ち着いて学習に取り組むことができる
- 仲良く協力し合って生活している
- 不安や心配事が少ない

△ リーダー性・主体性が弱い

△ 卒業後、不登校になる児童もいる



自ら考え、発信・行動する児童





# R6年度の取組



図書委員会



放送委員会

### エントリーシート

健康にすごそう！～きっちり手洗い～もっさり朝ごはん～しっかり歯みがき～

望ましい行動を【引き出す工夫】

- ・月目標として、保健委員会が朝会で発表する。
- ・毎日、学級ごとに4つのチェック（ハンカチ・朝食・手洗い・歯みがき）をし、健康観察表に記入する。
- ・毎日、保健室前の掲示板に学級ごとの達成度を花丸で表示することを予告する。
- ・「手洗いの歌」「歯みがきの歌」を新しくし、全校児童の気持ちを高める。

【幼児児童生徒の望ましい行動】

きっちり手洗い～もっさり朝ごはん～しっかり歯みがき

【幼児児童生徒の姿容】

- ・新しくなった「手洗いの歌」や「歯みがきの歌」に合わせて、ロズミながら丁寧に手洗いしたり、しっかりと歯をみがいたりする姿が見られた。
- ・子どもどうして声をかけ合い、ハンカチを忘れながら児童もきちんと持っていることができるようになった。
- ・他の学年の花丸を見て、「〇年生に追いつこう！」「明日もパーフェクトを目指そう」と目標をもつようになった。

【引き出す工夫の写真】

朝会で「健康花丸貯金」について説明

【繰り返しやすくなる工夫】

- ・「健康花丸貯金」と表示して、保健委員会が毎日の結果を掲示する。
- ・週ごとに花丸の数を合計し、1週目から4週目の伸びが分かるようにする。
- ・手洗いや歯みがきの様子を保健委員会が時々打ち打ちチェックして、各学年の頑張りがよさを認めてくれる。

【成功のポイント】

- ・「めざせ健康万歳者」をい言葉に4つのチェックを毎日積み重ね、目に見えて花丸が貯まることで意欲が持続した。
- ・朝食や清潔なハンカチの用意など、家庭での協力が必要なことも、学校・学級・委員会からの応援により保護者の理解と協力を得ることができた。

【取組の様子】

- ・保健室前の掲示板に毎日掲示し、各学年の頑張りがよさを認めてくれる。
- ・保健室前の掲示板に毎日掲示し、各学年の頑張りがよさを認めてくれる。

### 貯金

50 ⇒ 100  $\frac{1}{11} \sim \frac{1}{15}$

21	23	21	23	21
3年	4年	5年	6年	

保健委員会

### エントリーシート

いろいろな本をたくさん読んで心を豊かにしよう

望ましい行動を【引き出す工夫】

- ・月目標として、図書委員会が朝会で発表する。
- ・図書委員会の児童が選んだおすすめの本を紹介する。
- ・図書室前の廊下におすすめの本のコーナーを設置する。（おすすめの本には黄色シールを貼っておく。）
- 1冊読むごとに、学年ごとにベントホルムの容器にキャップを入れる仕組みを設定する。
- ・毎日、給食時のお昼の放送で図書委員会の児童が呼びかける。

【幼児児童生徒の望ましい行動】

自分から進んで本を読む。

【幼児児童生徒の姿容】

給食を食べ終え、歯みがきが終わった児童から読書と図書室へ

【引き出す工夫の写真】

朝会での発表

学年ごとに、ベントホルムの容器にキャップをためる。

【繰り返しやすくなる工夫】

- ・毎週金曜日に、たまったキャップの数をお昼の放送で発表し、一番多かった学年を紹介する。
- ・2週目からは、さらに「思いやりの心」や「感謝の心」などの言葉が書かれた4つのハートにシールを貼る。
- ・3週目からは、全校児童からもみんなにおすすめしたい本をカードに書いて貼る。（本に黄色シールを貼り、おすすめコーナーに並べる。）

【成功のポイント】

- ・おすすめの本が、どの学年でも長時間で読めるような絵本なので、気軽に手に取ることができた。
- ・ベントホルムの容器にキャップがたまっていく様子が見え、もう1冊！と意欲が高まる。
- ・どの学年も給食後や授業のすきま時間を利用して図書室へ足を運んだので、無理なく続けることができた。

【取組の様子】

- ・図書室前の掲示板に毎日掲示し、各学年の頑張りがよさを認めてくれる。
- ・図書室前の掲示板に毎日掲示し、各学年の頑張りがよさを認めてくれる。

# 大きな転換期



教員の異動



閉校に向けて



担当の負担増



持続可能なPBSを再考する

# R7年度の取組（ブラッシュアップした点）



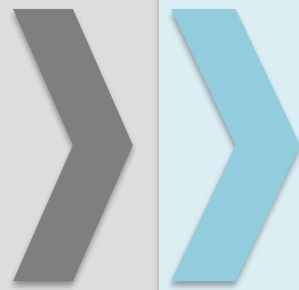
## R6年度

各委員会からの発信

委員会活動を活用

委員会担当が主導

委員会ごとに計5つの目標



## R7年度

**全校**（縦割班）での発信

**全校集会（10分）**を活用

**全教職員**で協力

**目標を1つ**に絞って実施

# 「こんな小学校になりたい」を共有



1～6年生まで全員が  
意見を出し合いました

R7年度：自ら進んであいさつする

# 職員研修の様子

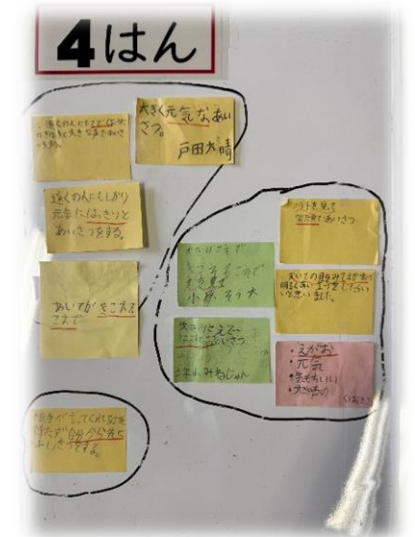
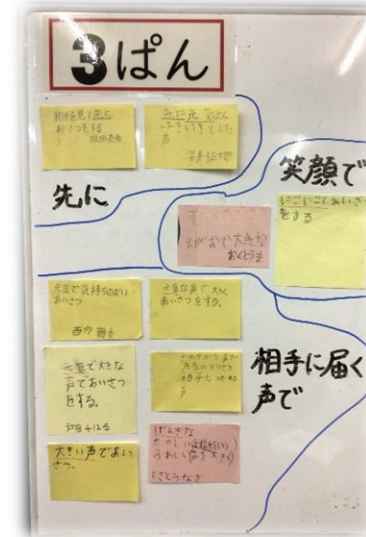
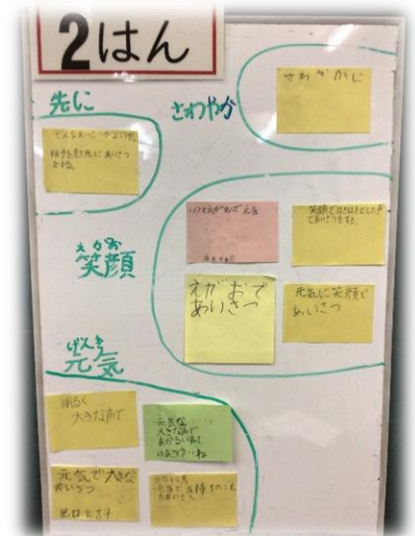
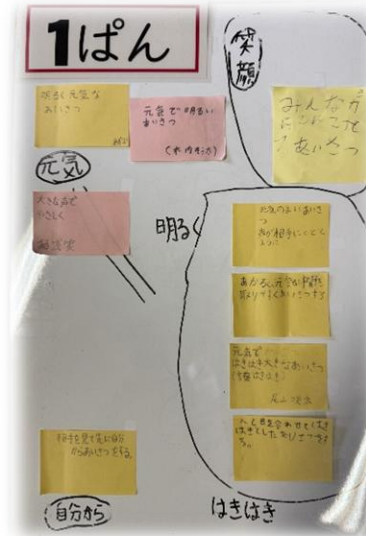


誰が見ても評価できる

あいさつの基準について協議しました

9/5(金)までに	各教室で、「なぜあいさつをしたほうがいいのか」を考える。また、「どんなあいさつがいいのか」も考え、一人一人が付箋に書いておく。
9/8(月)	朝の活動の時間(8:15~8:30)に、一人一人が事前に考えたあいさつについて書いた付箋を持って縦割り班で集まる。班で意見を出し合いながら「どんなあいさつがいいのか」話し合う。
9/8または9/9	話し合ってきたことをもとに、縦割り班の6年リーダーが「あいさつの3つのキーワード」を話し合って決める。
9/16(火)	朝会で「あいさつの3つのキーワード」について全校に知らせる。
9/16(火)	6校時の委員会の時間の後半は、縦割り班に分かれて、各班の5・6年生が【すてきなあいさつができたよ】のシールを貼っていく枠を作成する。
9/19(金)	朝の活動の時間(8:15~8:30)に、縦割り班で集まる。各班で、枠を完成させる。 ・3つのキーワードは、子どもたちが書く。 ・枠の周りには、自分の顔の絵を貼る。
9/22(月)	縦割り班集会(8:15~8:30)で、取り組み方(シールの貼り方)などを話して知らせる。  ※良い例の行動モデルをやるかどうかは 要相談
9/22(月) ~ 9/26(金)	第1週目の取り組み ・自分の挨拶を自己評価し、できたところにシールをはる。 ※シールは学年で色を変える。
9/29(月)	朝会で、第1週目の振り返りを行う。 ・全体で、表を見ながら振り返る。 ・体育館内で縦割り班に分かれて、自分たちの班のあいさつについて振り返る。
9/29(月) ~ 10/3(金)	第2週目の取り組み ・自分の挨拶を自己評価し、できたところにシールをはる。 ・友達の「すてきなあいさつ」を見つけたら、その友達の班の枠にシールをはる。(他者評価) ・教職員も子どもたちのあいさつの様子をみてシールをはる。  ※他者評価のシールと教職員のシールは、これまでのシールとは別の色にする。

# 縦割り班で理想のあいさつを考える



子どもたちからは  
**「笑顔で」「自分から」「とどく声」**  
という3つの基準が挙がりました

# 理想のあいさつについて全校で共有



あいさつの基準を発表



朝の立哨場面での  
あいさつを例にモデリング



# キャンペーン教材を作成

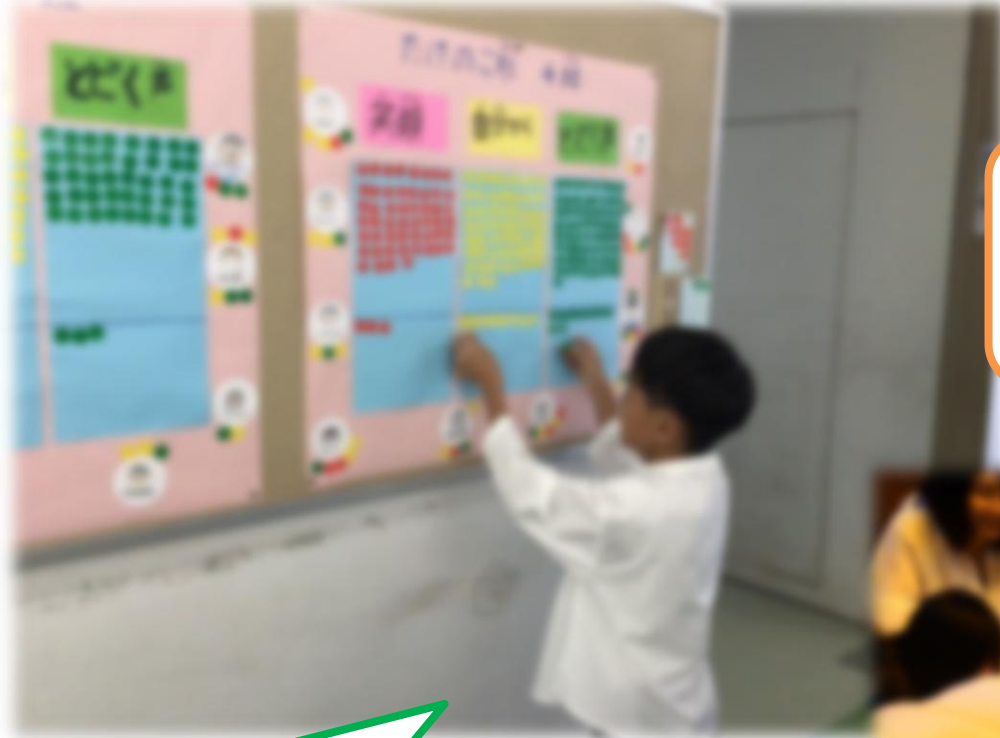


完成した表は4班分を掲示

子どもたち自ら  
『あいさつシール表』を作成



# 取組の経過



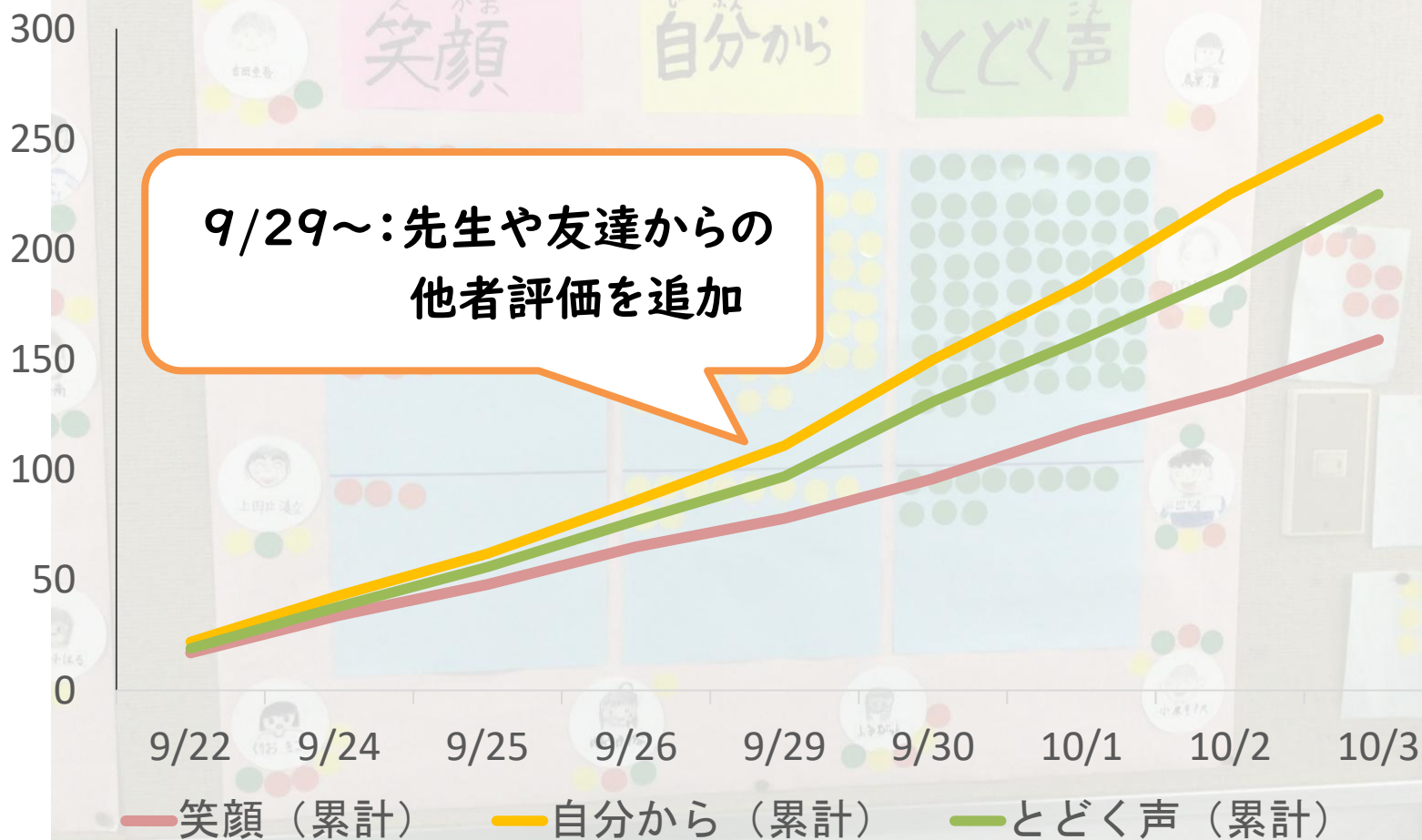
シール表を持ち寄って  
班ごとに振り返り

1日に1回  
シールで自己評価





## 3つの基準ごとのあいさつシールの合計数（4班）



# 取組後の変化について



『いじめ防止委員会』  
によるあいさつ運動

子どもたち自ら  
あいさつの輪を広げる



# 取組後の変化について



自分たちがキャラクターになりきって啓発活動を行う



作成した動画を給食時に放送



# まとめ～2年間の取組のポイント～



## ①小規模校の特色を活かしたSWPBS



- ・全校での発信が浸透しやすい
- ・児童一人一人が活躍する場を設定しやすい
- ・変容に気づきやすく、望ましい行動を見つけやすい

## ②児童も教員も続けやすい取組を目指して



- ・目標や標的行動をしぼる
- ・全教職員で協力できる仕組みづくり

ご清聴ありがとうございました

